

会 議 録

会議名	第5回 カリヨンハウス利活用検討委員会
日 時	平成25年1月11日(金曜日) 午後3時から午後4時30分まで
場 所	みよし市役所 3階 研修室3
出席者 (敬称略)	鈴木一利、大塚誠之、石川育生、佐宗正行、福岡辰彦、山根隆、青木幸雄、鳥居鎌一、 岩本哲也、加藤實、高橋真、古市修康、藤野昭彦、黒木洋治、村上美穂子、 富田正(顧問)、林徳秋(顧問)、加藤芳文(顧問) (事務局) 久野市長、鈴木政策推進部長、藤根政策推進部次長 企画政策課：柴田課長、村田副主幹、芳村主査
次 第	1 あいさつ 2 協議事項 (1)カリヨンハウス利活用(機能配置)について (2)その他
会 議 録	
委員名	質 問 ・ 意 見
1 あいさつ	
石川委員長	<p>昨年の7月17日にカリヨンハウス利活用検討委員会が発足して、おおむね6か月が経過しました。本日は第5回目ということで最終回ということになります。このカリヨンハウス利活用検討委員会の設置の目的については、要綱に地域住民や関係機関などから広く意見を聴き、カリヨンハウスの利活用方法について協議、意見交換をすることとなっています。今日は、意見を集大成したものを会議の中でまとめて、提案をしていきたいと思っておりますので、ご審議をよろしく願います。</p>
久野市長	<p>それぞれお忙しい中、第5回カリヨンハウス利活用検討委員会にお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>石川委員長からお話いただきましたように、昨年の7月に会議を立ち上げ今日で5回目を迎えたということですが、今日意見を取りまとめでいただくということになります。駅前のカリヨンハウスは、カリヨンの音が鳴るということでアートヒル三好ヶ丘のシンボルであります。前々から建て替えという話が出ている中では、私どもとしてはカリヨンをなんとしても残していただきたいという話をしてまいりました。その中で昨年の1月に急遽、3月中に方向性を決めて売却をしていきたいという話があったことから、内部で検討し、議会の皆様方のご了解をいただき取得をさせていただいたということでもあります。</p>

久野市長	その利活用につきましては、検討委員会の中でご審議いただいているところですが、まずサンネットは新年度早々からオープンするために準備を進めています。サンネット以外については、今日ご意見をまとめていただければ、その後整備を進め、私どもの考えとしては秋遅くには全てが完了し、来年度の後半には少しでもにぎわいの創出ができる形にしていきたいと思っています。委員の皆様には短期間において大変精力的にご審議いただいたところですが、本日も資料に基づきご議論いただき取りまとめをお願いいたします。
協議事項 (1)カリヨンハウス利活用(機能配置)について	
事務局 (課長)	資料の訂正をお願いします。カリヨンハウス1階平面図 子育てふれあい広場の中にあります、「児童コーナー」とありますが、子育てふれあい広場については、就学前の子どもたちを対象としておりますので「幼児コーナー」に訂正をお願いします。
石川委員長	前回までの会議で出した結論を確認しておく、2階の元喫茶店はコンビニを公募すること、1階の は現在も出店意向がなく厳しい状況であること、子育てふれあい広場は前回の会議を受けて広めに取ってあること、多目的室は3つとなっていることが今回の図面に表現されています。前回までの資料の中にはなかった音楽室と の今後の取組み方については、今回の議論の肝になると思います。この辺りを重点的に何かご意見などありましたら発言をよろしくをお願いします。
山根委員	図面は非常によく考えられていると思います。ロータリーの方から入っていくと、今はシャッターが下りていますが、これからはある一定の時間でシャッターを下ろすことになるのでしょうか。全体の戸締りなどはどのように考えていますか。
事務局 (課長)	これから具体的に検討していくことになりますが、現在のシャッターの位置が今後基本になってきます。 のイベントスペースが24時間入れるかどうかが一番の問題となります。管理上は、24時間出入りできることにしておくといろいろな問題が起こる可能性があります。現時点では開館時間以外は閉めるということを内部では検討しています。
村上委員	三好ヶ丘は、先ほども市長が言われたようにアートのあるまち、アートのある暮らしがコンセプトでまちづくりが始まりました。多目的室では作品展示ができるような機能は備えられるのでしょうか。天井から吊り下げのようなものとか、ホワイトボードのようなもので展示できたりするようなものことです。
藤野委員	ピクチャーレールがつくつかないかという話ですよね。
事務局 (課長)	場所を必要とするものではないのであれば可能ですので、実際の設計の中で検討していきます。
黒木委員	それは部屋を限定していくのでしょうか。
事務局 (課長)	壁の多さは多目的室Aが2方向で一番多いので適切かなと思いますが、設計の中で検討していきます。
石川委員長	設計の中でピクチャーレールと衝立のようなもので展示できる設備を検討していただくということをお願いします。
事務局 (課長)	はい、検討していきます。

黒木委員	多目的室Aだと奥に入り込みすぎているので、多目的室BかCが魅力的だと思います。
事務局 (課長)	考慮して検討していきます。
藤野委員	多目的室BとCの間仕切りは可動式なのですか。
事務局 (課長)	今回の会場となっている研修室にある間仕切りを想定しているので可動式になります。
山根委員	遊歩道の下にある駐輪場を駐車場に変更するということですが、サンネットがオープンするのに併せて変更していくのでしょうか。 我々としても要望していますが、サンネットなどを利用される方が利用できるように、一般の方が利用することをなるべくなくすような方策を検討していただきたいと思います。
事務局 (課長)	現在遊歩道の下で駐輪場となっているところを駐車場に変更するのはカリヨンハウス全体のオープンと同時を考えております。その管理方法については、利用者以外の車が駐車できないような管理方法を検討します。
山根委員	例えば9時から9時までとした場合、一般で利用されてしまい、サンネット利用者が利用できないということがないように検討してください。
事務局 (課長)	そのようなことがないように検討します。
福岡委員	駐車場のことは総合的に検討する時間を設けることにして、建物のご質問やご意見のみに限定してはいかがでしょうか。 交流コーナーや子育てふれあい広場などに黒三角の印がありますが、どのような仕切りになるのでしょうか。
事務局 (課長)	この黒三角は出入口をこの辺りに設けるという印になります。
福岡委員	壁はどのような壁になるのでしょうか。
事務局 (課長)	子育てふれあい広場の内側、交流コーナーに面している廊下との境目の壁は、ガラスで仕切ることを考えています。
福岡委員	透明なガラスで仕切るとのことですか。
事務局 (課長)	はい。交流コーナーや廊下が暗くなることを防止するために、できるだけ自然採光を取り入れることと、中が見えるということも考えてガラスで仕切ることを考えています。
福岡委員	多目的室の壁はどのようになるのですか。
事務局 (課長)	多目的室Aと廊下の境目は、ガラスではなく普通の壁を考えています。
黒木委員	多目的室A、B、C全て壁ということですか。

事務局 (課長)	多目的室B、Cのイベント広場側は、ガラスとして、廊下側は壁を考えています。
黒木委員	多目的室B、Cは自然採光が入らず暗いということになります。
事務局 (課長)	自然採光に頼ると比較的暗いと思います。
藤野委員	先ほど山根委員からもセキュリティのご質問がありましたが、それも含めて全体の施設管理についてですが、事務局の説明の中で1階の受付兼管理事務所が施設全体の管理とありましたが、2階の管理もここでやることになるのでしょうか。それとも2階はサンネットがあるのでサンネットが管理して、1階は受付兼管理事務所が管理することになるのでしょうか。説明の中にあつた施設全体の管理はどのようなことを指しているのでしょうか。
事務局 (課長)	施設全体の管理は、1階2階あわせてという意味ですが、サンネットの部分は、サンネットを所管する部署がありますので、そちらで鍵の開け閉めなどの管理はその部署が責任を持って行うことになります。子育てふれあい広場も同じように所管する部署がありますので、その部署が責任を持って行うことになります。受付兼管理事務所は共用部分を含めて全体を管理します。
藤野委員	サンネットがオープンするときは、サンネットはサンネットが管理して後の管理はここで言うということですか。
事務局 (課長)	全体オープン後はそのようになります。
藤野委員	建物管理についてよくわからなかったので確認させていただきました。 もう1つは、この施設は希望者に貸し出ししていくことになりますが、貸し出し事務の管理はどのようになりますか。多目的室や子育てふれあい広場があつても、これが利用者にとって利用しにくいものではないけません。受付兼管理事務所で貸し出し事務などの管理をしていくことになるのでしょうか。
事務局 (課長)	この管理事務所が管理していくのは、多目的室3部屋と音楽室と地域活動コラボエリアとなります。貸し館として使われるときは三好丘交流センターの管理方法のような形になると思います。利用の細部は今後詰めていきますが、一般に貸し出す貸し館のときはこの管理事務所がコントロールすることになります。市の主催で多目的室などを利用するときは、その主催する部署が責任を持って鍵の開け閉めなどの管理を行います。
藤野委員	貸し館は、基本的に有料になって料金体制は他の施設と同じぐらいと考えていいのでしょうか。
事務局 (課長)	利用料はこれから算定をして、部屋ごとに算出していくことになります。利用料の算定は、三好丘交流センターの利用料を準用するのではなく、この施設にあつた利用料を設定していきます。
藤野委員	これからということですね。
事務局 (課長)	はい。

石川委員長	利用規定はこれから市の内部で検討されるということによろしいですか。
事務局 (課長)	利用料をいただくこととなりますので、条例の策定が必要となります。これから条例の策定作業を進めていきます。
福岡委員	各部屋から外部への非常口は、2か所ということによろしいですか。
事務局 (課長)	はい。
福岡委員	全体の状況から見ると狭くないでしょうか。
石川委員長	この平面図は、建築関係のところでは寸法まできっちり作り込みがされているのか、事務局でイメージとして描かれたものなのでしょうか。
事務局 (課長)	事務局でイメージとして描いたものとなります。
石川委員長	廊下幅などは、今後設計段階で法律に照らしあわしていくということによろしいでしょうか。
事務局 (課長)	はい、設計段階で法律要件はクリアしていくこととなります。
福岡委員	万が一の場合に出口に通ずる通路の安全性を十分に確保してください。
事務局 (課長)	設計の段階で各種法令の適用を確認していきます。
黒木委員	40人、50人ぐらいの収容人員であれば、大きな教室ぐらいなので、2か所あれば十分であると思います。 交流コーナーの周りの白い部分は、非常に広いように思えますが、単なる通路と考えていいのでしょうか。
事務局 (課長)	交流コーナーというエリアを壁やパーティションで囲うつもりはありません。ここにテーブルといすを置いて、飲食ができるスペースとして考えています。
黒木委員	交流コーナーが拡大したり縮小したりすることがあるということでしょうか。
事務局 (課長)	通路の妨げにならない程度の範囲で考えています。
黒木委員	最初から交流コーナー周辺の白い部分全体を交流コーナーとしていてもいいかと思えます。交流コーナーの中を交流しながら移動していただくということでもいいかと思えます。
事務局 (課長)	非常用の通路でもあることを考えての今の形態となります。
黒木委員	複数の多目的室を同時に利用された場合、交流コーナー30㎡では足りなくなると思えます。

事務局 (課長)	不足することはあるかもしれませんが、他の配置を削ってまで作り出すことはないと考えています。イベント広場も人が集えるように机やいすを置く予定ですので、合わせてご利用いただければと思います。
村上委員	イベント広場となる所には、昔テレビが見られる画面があっけいすもあつたと思いますが、今後どのようなになりますか。
事務局 (課長)	以前はついていましたが、今はついていません。机といすを置いて人が集まることができるようにしたいと思いますが、テレビを見ることができるようにするかは今後検討したいと思います。
石川委員長	確かにいすは置いてあつたと思いますので、ちょっとしたコーナーを作っていたいただければと思います。
大塚委員	交流コーナーは、最低限南北ラインは に合わせて東西ラインは 多目的室Bに合わせておいてもいいかと思います。
事務局 (課長)	壁もパーティションも設置しないので、イメージとして捉えていただければと思います。
石川委員長	音楽室や 出店意向確認中エリアが今回の肝だと思うのですが、設置に関して意見などありましたらお願いします。
黒木委員	音楽室は、通路が非常に長いのですが、壁を取り払って広くできないのですか。
事務局 (課長)	この壁が取り払うことができない壁ですので、この形となっています。突き当りの部分は物置に使えるとは思いますが、壁を取り払っての一体利用はできない状況です。
村上委員	音楽室はトイレに囲まれているが、壁に囲まれた空間だけになるのでしょうか。例えばここにピアノなどが置かれてると音楽室みたいになるとは思いますが、楽器を持ち込まないと音楽ができないということになるのでしょうか。
事務局 (課長)	現時点では持ち込みの練習室を想定しています。
石川委員長	確認ですが 音楽室は、壁に囲まれているので大きな音が出る音楽にも対応できる防音設備となるということによろしいですか。
事務局 (課長)	多目的室Aよりも防音ランクの高い設備とする予定です。
佐宗副委員長	音楽室の出入口は40㎡と書いてある下の壁の切れ目からとなるのでしょうか。
事務局 (課長)	黒三角記号がついていませんが、昔のトイレの出入口で、そこから入ることになります。
福岡委員	施設全体は土足可能でしょうか。
事務局 (課長)	子育てふれあい広場以外は、土足可能です。
山根委員	交流コーナー周辺の通路にはエアコンが効くのか効かないのか、効かないのであれば効くようにしていただきたいと思います。

事務局 (課長)	交流コーナーを壁で仕切るかどうか検討する中で考えており、ここもエアコンを効かせることを考えて壁をなくしています。ですので、通路も空調の対象となります。
大塚委員	出店意向確認中ということですが、それはカフェに限定してということですか。
事務局 (課長)	委員会の中で全国展開しているカフェチェーンをとということでしたので、そこに照会をかけています。
大塚委員	商工会はどれくらいニーズがありそうでしょうか。
鳥居委員	我々は、出店をするのではなく、商工会の中で次の世代を背負う若い人たちで会社をつくりまします。その会社でカリヨンハウスを利用します。153号線のイオンの前にあるトンネルや庁舎周辺の貸し店舗などを利用して事業を進めていきます。できましたら、日本中の特産品を販売できるような形で事業を進めていきたいと思っています。カリヨンハウスの中で場所を決めていただければそこでやっていきます。
大塚委員	やる必要はないのかもしれないですが、 イベント広場に床壁天井をつけたらいくらかかるか質問させていただいていました。なぜ、それを主張しているかという、市民の税金が取得に3億1千162万円、改修に1億2千5百万円程度計上されていて、合計すると4億3千662万円程度かかっています。市の新庁舎は12億7千451万円と予算が出ています。にぎわいをつくるという時に、子育てとかサンネットの移転とか不定期に利用される多目的室をつくって、本当ににぎわいが出てくるかは疑問です。収益をあげるスペースでもないのに、賃貸スペースがこれくらいいいのかどうか。商工会だけではなく民間の企業もたくさんあるので、 の一部にでも設けたらどうかと思います。現時点で4億円強のお金がかかるのは確定しているわけで、そこにどれくらい追加していくかで採算性があってくるのか、議会の方で議論していただけるとは思いますが、委員会で何も議論していないではなく、確認したとしておくのがいいかと思います。 つまり床壁天井は、1千万円なのか2千万円なのかいくらになるのか。賃貸スペースはどれくらいが妥当なのか。
事務局 (課長)	ご意見、ご質問いただいていることは承知していますが、現時点で民間に貸すところが2階のコンビニのところと1階の のところという方針を決めていただき、事務局で確認したところ、 ですら埋まっていない現状があります。
大塚委員	公募して本当に集まるか分かりませんが、公共の施設が地域で貸すより安く貸せるので通常は埋まるのですが、埋まらないという前提で考えられるのに、にぎわいが本当につくれるかという矛盾した話となります。議会で議論していただければいいのかもしれませんが、委員会として4億円強にあといくらかかるかを見て有効活用できる賃貸面積がこれくらいいいと議論があってもいいかと思います。
事務局 (課長)	カリヨンハウスの件が新聞に載っても全く引き合いがない状況、事務局からアプローチして初めてお話を聞いていただける状況ですので、別の賃貸スペースを作り出すという想定はできないため、具体的な金額の算出はしていません。

藤野委員	<p>一般の方は建物の躯体があると新たな部屋を設けるのに、あまりお金がかからないと思われるかもしれませんが、の部分で120坪程度あるわけです。実際は安く見て坪50万から60万円だとして、そこで建物のコンクリートがある部分は15万円程度しかないので、30万円から40万円かかる計算になります。120坪ですので、だいたい3500万円から5000万円程度はかかると思います。そこで議論してもらったら議論していただいてもいいですが、個人的には状況も考えると、ここでこれだけのお金をかけるのはどうかと思います。</p>
大塚委員	<p>委員会で議論すべきだと思いましたが、質問に対して残念ながら調べていただけなかったということで了解しました。</p>
黒木委員	<p>空調なども必要なのもっとかかると思います。</p>
大塚委員	<p>空調はテナントにまかせる方式もありますよね。スケルトンを提供する基本として、いくらかかるかを把握すべきだったと思います。</p>
黒木委員	<p>設備が増えるということは電気の容量が増えるということなので、今の設備が耐えられるかどうかまた別の問題がでてきます。</p>
大塚委員	<p>その辺りも含めてということです。にぎわいをつくろうというのに多目的室がほとんどで、サンネットの移転と子育てふれあい広場だけとなっていてしまっています。お金のかかりついでではないですが、ある程度のその辺りの見通しがあってもよかったのかなと思います。</p> <p>三好丘交流センターの横に、三好丘地区の施設増強計画がある中で、2重3重投資となる可能性もあるので、駅前のにぎわいを考える上で、将来の改築でもいいですが、議論をしっかりしていかないと、場合によっては、多目的室だけでは新庁舎や複合施設の中、三好丘交流センターの拡張のときにできたということになりかねないので、駐車場問題も出てくるとは思いますが、長期的視野で検討していただきたいかと思っています。</p>
岩本委員	<p>イベント広場ということですが、イベントをやると倉庫が必要になってきます。イベントの性質によっては、電源や排水などの水周りが必要になってきますので、あらかじめ必要なものを想定して作りこみをしておいた方がいいと思います。</p> <p>の上に倉庫がありますが、倉庫の使い方はメインとして イベント広場の倉庫として使うのか、施設としては、倉庫は何かと重宝しますので計画的に決められておいた方がいいと思います。</p>
事務局 (課長)	<p>の倉庫は、 イベント広場の倉庫として利用することを考えていますが、現在ある壁の位置を倉庫としています。実際にこの倉庫に入れるものを検討した結果、の真ん中辺りにある柱まで広がることもあって考えています。</p>
岩本委員	<p>電源や排水についても、後からなかなか変更はできないので計画的に作っていただければと思います。</p>
事務局 (課長)	<p>トイレの辺りを考えていますが、今後検討していきたいと思っています。</p>

藤野委員	<p>1階は元々スーパーだったので、場所さえ決めればそんなにお金をかけなくても排水はできると思います。</p> <p>は、商工会としてアンテナショップのイメージなのか事務所なのかどちらでしょうか。</p>
鳥居委員	<p>事務所としては使わないです。いろいろな商品を販売していきたいと思います。</p>
藤野委員	<p>そのような用途であれば、やっていただいてもいいかと思います。もしそれでも最後まで埋まらなかった場合としてですが、郵便局は移転先で駐車場がなくて混乱した状態になっています。郵便局に戻ってきてくださいとか、ATMだけでも戻ってきてくださいというのもありだと思います。その費用負担をどこがするかは別として、利用者視点からはありだと思います。</p> <p>黒木委員からも出ていましたが、音楽室の壁が取り払えないという件については、設計にも確認されていると思いますが耐震壁となっているからだと思います。そういう事情であれば、耐震壁は耐震補強で壁1枚移動したりすることも合わせて検討すれば有効スペースが一気に広がってくるので検討していただきたいと思います。</p> <p>多目的室A、多目的室Bの右横からエレベーターにいたる廊下は、雨が降ると大変滑りやすい状態になっていますので、防滑対策を検討してください。</p>
石川委員長	<p>今ご提案いただいた内容は、設計で反映できるように要望事項とさせていただきます。</p>
福岡委員	<p>音楽室に入るために左側の壁を取り払うことはできないのですか。</p>
事務局 (課長)	<p>音楽室の左側は、ペDESTリアンデッキの下で壁の向こうは土になりますので壁を取り払うことはできません。</p>
佐宗副委員長	<p>図面上、音楽室の下にある階段も滑りやすいので対策をお願いします。</p>
事務局 (課長)	<p>そこも先ほど藤野委員からいただいたご提案と共に検討させていただきます。</p>
石川委員長	<p>には、出店意向確認中とありますが、基本的にはカフェ優先で検討していただいて、意向がない場合は商工会で検討していくということに現時点ではなっていますが、この点も含めて何かご意見がありましたらお願いします。</p>
村上委員	<p>言うかどうか迷いましたが、のところはカフェとは全然違いますが、例えば自転車利用者が多いので自転車を修理してもらえるようなお店はどうでしょうか。自転車の修理もしてもらえるし、レンタルもしてもらえる、例えば浄水駅から少しはなれたところですがエコチャリというお店があります。浄水駅はどんどん新しいお店ができていますが、なぜ三好ヶ丘駅にはできないかなと思います。自転車がパンクしたときなどには助かるなと思いますけど、一例としてあげさせてもらいました。</p>
石川委員長	<p>今までいろいろな出店希望を事務局が確認していただいて、なかなか出店希望がないということは、それだけ経済効果がない所かなと思っていますが、それを踏まえて対応の仕方を考えていかなければならないと思います。</p>

大塚委員	イベント広場についてですが、イベントで貸し出すときに2階部分もあるので天井も電灯も当然ついているのですよね。私が先ほど言った有料スペースは一番外側の壁面だけのことを言っていましたので誤解のないようにお願いします。天井部分の配線が見えているということはないわけですよね。
事務局 (課長)	現在の照明が少しありますが、あれでは暗いので最低限必要な明かりを確保できるように改修をしていきます。
大塚委員	床も改修していくのでしょうか。
事務局 (課長)	おそらく床は現状のままであると思います。
藤野委員	前々回の委員会で提案しましたが、にぎわいの創出ということとコンビニが24時間営業するかしないかということを含めて、明かりの問題、ライティングはよく考えていただきたいと思います。今はLEDでいろいろなライトアップが可能ですので、駅前のにぎわいに関して全国から見学者が来るようなことを考えて、やるかやらないかを判断していくことがあっていいのではないかと思います。
石川委員長	運用を始めてからかもしれませんが、例えばカリヨンの塔に向かってライトアップするとか考えていただきたいと思います。
福岡委員	今日の会議で建物の配置に関する検討は終わりということによろしいでしょうか。
石川委員長	今日は、事務局から提案いただいた図面の内容について議論いただいて、委員会から市に対して提案していくことになります。その提案に基づいて具体的に市ですすめていただくことになります。
福岡委員	カリヨンハウスが稼動するときに、明らかに起きると思われるのが駐車場の問題です。駐車場の問題を議論しないで委員会としての議論が終わっていいのかと思います。
石川委員長	平成25年度から駅前の再開発などの計画を作成する話がありましたが、それを含めて今の件についてはどうですか。
事務局 (部長)	平成25年度にまず内部でプロジェクトチームをつくって駅前周辺の魅力づくり計画策定について検討していきます。平成26年度にはコンサルを入れて進めていくことを予定しています。
石川委員長	そこで駐車場の件についても検討していくということですね。
事務局 (部長)	はい。
福岡委員	サンネット部分は、4月にオープンするので、ロータリーに違法駐車があふれることが目に見えています。この図面では駐車場がどこかわかりません。
事務局 (課長)	駐車場は、この建物の北側に約20台、ペデストリアンデッキの下に約30台で合計約50台あります。
福岡委員	駐車場に関して、今ある資料に合わせて付けておかないと、検討していないことになってしまいます。口頭であった話を追加で1ページ付けていただきたいと思います。

岩本委員	<p>名鉄が所有している駅に隣接している段々状になっている遊休地については、カリヨンハウスの駐車場として利用価値があるのであれば、ご協力するという話をさせていただいていました。しかし、先ほどお話があったように不足はないという話であれば、今後空き地のまま1年2年ということは難しいので、本当に使うことがないのであれば、ある程度のお示しはしていただきたいと思います。</p>
青木委員	<p>名鉄の駐車場の件は、会議の中でお話をいただいている、かなりお金がかかるというお話でした。ですので、平成25年度から検討される計画の中に入ってくると思います。</p> <p>先ほど事務局からあった駐車場20台とかの話は、1回目2回目の会議でけりはついていると思います。カリヨンハウスだけの駐車場としては足りていると思います。全体から見るとあれだけでは不足することもあると思います。今後名鉄の土地を借りるという話も出てくると思います。</p>
福岡委員	<p>利用者が必要なときに使えるような駐車場の管理について、議論がされてその結果としてこのようになったという形にさせていただきたいと思います。駐車場の話はすぐにでてくる問題ですので、先ほどから口頭で説明いただいているような話を1ページにまとめていただいて提案書に入れていただきたいと思います。</p>
石川委員長	<p>ここには2つの要件があると思います。1つは今日の主題であります、使い方をどうするか。もう1つは駐車場を含めて公共施設をどうするか。青木委員が言われたように1回目、2回目で駐車場は20台と30台合わせて50台で当面は運用を開始するというので議論はきりがついた形になっています。そうはいつでも、先の活用を考えると不足するであろうということから、平成25年度から検討に入る駅前の魅力づくり計画の中で検討を進めていただくという一文を入れていただきたいと思います。</p>
大塚委員	<p>コインでもスタンプでもいいですが、市役所から出してもらって、それでなければゲートが開かないという方法もあると思うのですが、確かに他の委員の方もご心配の通り、職員が開けて閉めるだけでは通勤客が利用することが全くないとは言えないと思います。</p>
石川委員長	<p>スペースの話と今あった運用の話はあると思いますが、もちろん運用の話は検討しておいていただきたいと思います。</p>
福岡委員	<p>カリヨンハウスの1階2階の詳細を詰めて、実際にサンネットが4月からオープンするので、やはり駐車場に関してもこの提案書に1ページ付けていただきたいと思いますが、さらに、平成25年度からの計画は、それはそれでやっていけばいいと思いますが、当面サンネットがその前から動き出すので、どこの駐車場をどのように活用していくのかは明記しておくべきだと思います。</p>
藤野委員	<p>50台の管理は市でやるので、この施設の利用をしない人は利用できないように管理しますという話がありましたので、それが議事録に載れば私はいいいと思います。福岡委員のお話は、それを提案書の中に明記しておいていただきたいということだと思います。</p> <p>推測ですが、1人管理する人を置いて、ここの施設を利用したらスタンプをもらって、それを見せれば出入りができるということを考えていると思われ。管理という意味は、朝晩の施錠だけの話ですか。</p>

事務局 (部長)	今は朝晩の施錠だけの話です。
藤野委員	そうするとやはり、名古屋に行く人が停めてしまうことを防げなくなります。今白紙なら白紙でもいいですが、3月中にはその辺りを決めて、利用者が困らないようにしておくべきだと思います。 委員長からお話がありました管理の問題も合わせて検討して報告していただければと思います。
福岡委員	駐車場は当面これだけ確保されますというようなことも合わせて一式で区民に説明していきたいので、口頭の説明だけではなく、委員会の議論の結果として1ページ付けていただきたいと思います。
石川委員長	駐車場について、現状のスペースと今後の運用の方法に関する一文を付けて最終的な提案をしていきたいと思いますので、皆さんの賛同を得たいと思います。基本的に2つの内容で、1階2階のレイアウト案と使い方、駐車場の運用についての一文をいれた提案書としたいと思います。賛同いただける方は挙手をお願いします。
全員挙手により賛同	
石川委員長	全員からご賛同いただきましたので、今後の検討を進めていただきたいと思います。 市長にお渡しする提案書は、今日は難しいですね。
事務局 (課長)	駐車場の図面を追加でつくる必要がありますので、少しお時間をいただきたいと思います。
石川委員長	まとまった時点で私と副委員長で確認させていただいて、市長に提案書をお渡ししたいと思います。
藤野委員	前回いただいたカリヨンハウス改修のスケジュールについて、現状どうでしょうか。また見直さなくてもよいでしょうか。
事務局 (課長)	基本的にはスケジュールどおりに進んでいますし、今後も進めていきます。
石川委員長	提案書を提出して以降については、それぞれの進み具合はターニングポイントを捉えて地域にフィードバックしていただきたいと思います。
事務局 (課長)	動きがあれば区長会の会議前後を利用して区長さんには情報提供していきたいと思います。
石川委員長	提案書のコピーは、各委員に発送してください。
事務局 (課長)	はい。議事録とともに発送させていただきます。
山根委員	今日いただいたレイアウト図面は、いつごろ区民に出すことができるのでしょうか。
事務局 (部長)	議会にも報告が必要です。
事務局 (課長)	議事録と提案書を発送したタイミングで解禁となりますので、その発送のタイミングを計って発送します。

石川委員長	議事録をホームページに公表するときに、提案書を出したということも公表するので、その時からということになるのではないのでしょうか。
山根委員	3月になることはないですよ。
事務局 (課長)	3月になることはありません。2月の中旬までには発送できると思います。
協議事項 (2) その他【報告】2階サンネットのイメージについて	
石川委員長	それでは、(2) その他についてご質問があればお願いします。
村上委員	地区の説明会でも意見がありましたが、高校生の学習するスペースが欲しいとありましたが、それは閲覧スペースでということでしょうか。
事務局 (次長)	閲覧机を配置していくので、そこで自主学習していただければと思います。特に、昔の喫茶店との境は、全面壁になっていますので、その壁面を利用して机といすを配置しています。そちらのスペースと閲覧机を利用して自主学習をしていただければと思います。
村上委員	児童コーナーと隣接しているので、勉強に集中できるかと思いましたが、壁に向かって勉強ができるということですね。
事務局 (次長)	はい。
福岡委員	駐輪場(予定)は、どのような意味ですか。
事務局 (次長)	駐輪場(予定)となっている部分は、平成25年度の工事で駐輪場にしていくので、4月のオープンには間に合わないということもあり、駐輪場(予定)としています。
黒木委員	駐輪場(予定)の左側にある駐輪場を、当初は駐輪場とするということですか。
事務局 (次長)	図面の三角部分は以前の駐輪場で現在は閉めていますが、4月からのサンネットオープンに合わせて駐輪場として開放していきます。メインの駐輪場は今のテラス部分を考えていますので、整備後にはメイン駐輪場が変わるということになります。
大塚委員	テラス部分の駐輪場に屋根は将来的に付くのでしょうか。
事務局 (次長)	屋根は考えていません。テラス部分は、南側になりますので明かり取りの面から付ける予定はありません。
村上委員	意見というかお願いですが、この会議もサンネット移転というのも都市再生機構からカリヨンハウスを買い上げて欲しいという打診があり、2月に行政区からカリヨンハウスを買い上げて欲しいという要望が出されて始まったことだと思います。もし、都市再生機構から打診がなかったら、カリヨンハウスはどうなっていたのかと考えます。この会議の中で皆さんと真剣に考えてきました。カリヨンハウスはだいぶ古くなってきていますが、今後も残して行って欲しいなと思います。

村上委員	<p>私は、1990年4月に三好の町民となりました。三好ヶ丘のまち開きのあった直後に町民となったので、すごく三好ヶ丘のまちに愛着を持っています。三好ヶ丘のまち開きに当たっては、本当にいろいろな方が真剣に考えてコンセプトを持ってつくられてきたので、市長のあいさつにもありましたが、カリヨンハウスこのカリヨンは残して欲しいと思います。駅前にある地図にもカリヨンハウスと刻まれているので、なくなっていくのはさびしいな、老朽化しても残して欲しいなと思います。20年以上経って家は増えましたが、駅前の様子は変わりません。平成25年度からの駅前の開発計画には期待したいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
石川委員長	<p>ここに住んでいる方はみんな同じ様な考えを持っていると思います。 今後カリヨンハウスを再生していくプロセスに係わる事ができてよかったと思います。今後の変化を見守りながら、いい施設になるように協力していければと思います。</p>
事務局 (次長)	<p>ありがとうございました。提案書については事務局で準備させていただいて、委員長、副委員長にチェックしていただいた後に、市長に渡していただくということで進めさせていただきます。それでは最後に市長からごあいさつさせていただきます。</p>
久野市長	<p>どうもありがとうございました。5回にわたって、活発なご議論をいただきました。心より感謝申し上げます。関係機関で商工会、名鉄、東海学園大学、愛知学泉大学からはそれぞれの専門的なご意見をいただき、警察からは安心安全の面からご意見をいただきました。カリヨンハウスについては、あらためて言うまでもありませんが、昨年1月13日にURから話が来ました。昨年の今日1月1日には、全くその様な話はありませんでした。私どもはURに対してマンションなどつくる場合でも1階2階はにぎわい創出のできる形にして欲しいとずっとお願いをしてまいりました。より具体的になったのは、昨年1月13日に上からの話があったと思いますが、早急に処分しなければならないとのことで、3月31日までは売買契約を結んで欲しいという話でありました。私どもはそのような急な話では対応できないということでしたが、カリヨンハウスの明かりが消えてから時間が経過しており、早急に対応できないという話は無責任ということもありましたので、早急に内部で話し合いをして、URに条件確認をしました。1月17日に提示をいただき、すぐに議会の皆様にもお話をさせていただきました。議会ではあまりにも急ではないか、その様な所を買ってどうするのか、1年待ったらどうかという話もありましたが、1年待っていればURは他のところに売却しますとのことでしたので、3月までには結論をだすことになりました。URからは市がダメならダメと言ってほしいと話がある中で、買う方向で議会もご理解いただき、早急に委員会を立ち上げさせていただき、7月から5回にわたってご協議いただいたわけです。</p>

<p>久野市長</p>	<p>もし万が一どうしてもカリヨンを残せないという事態になったときは、三好ヶ丘がカリヨンの鐘の音がなるということで売り出されたという事実からも、三好ヶ丘にお住まいの方にとってのシンボルであると理解していますので、最悪の場合その塔だけでも前のロータリーに私どもが移設しなければいけないかなと思いながらやってきました。カリヨンはオランダ製で電気式のため、長い間停電が続くと全部がくるってしまい、その調整に200万から300万円必要になるので絶対停電させてはいけないということでした。このこともあって、建物として使われていない状況でも、電気だけは通してカリヨンが動くようにしてあるという状況です。カリヨンはいつまでも残していかなければならないというのは、私自身も強く思っているところです。建物自体は20数年経っていますが、まだまだ利用に耐えうるという中で取得したわけです。三好ヶ丘のそれぞれの集会所はスペースも限られている中で、カリヨンハウスは念頭になかったですが、三好ヶ丘の中で住民の皆さんが使える施設をもう少し思っていた矢先でありました。三好ヶ丘交流センターの買い増しもしてきましたが、そこに将来的には三好ヶ丘全体の施設をと思っていました。カリヨンハウスは、元々の利用構想にはなかったですが、きちりと管理させていただいて、駅前を明るくしていきます。先ほどライトアップというご意見もありましたが、これも大きなポイントであると思います。コンビニがどのような運営になるかはわかりませんが、仮になくてもLEDなどでライトアップして明かりを確保していかなければならないと思っています。5回にわたってご議論いただきまとめていただいたものを提案という形で近いうちにいただくことにさせていただきました。いただいた提案は、議会にもきちりと報告させていただき、必要な予算を確保してできるだけ早く進めていきたいと思っています。それぞれの方にはそれぞれの考え方があることは承知しておりますが、そのことも踏まえながら前に進めていきたいと思っています。半年にわたり石川委員長、佐宗副委員長には会議をおまとめいただいたことに心から感謝申し上げてあいさつを終わります。</p>
<p>事務局 (次長)</p>	<p>長時間にわたりご議論いただきありがとうございました。これをもちまして第5回カリヨンハウス利活用検討委員会を終わります。</p>